

教科名	芸術	科目名	書道Ⅱ（２年次）【３単位】	
授業形態	実技			
選んでほしい生徒	書道Ⅰを履修済みで、さらに高い表現技術を高めたいと思う人			
科目の目標	書道の創造的な諸活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばす。			
身に付けてほしい学力	1 用具用材や表現形式等の取り扱い範囲を広げ、書の美について、様々な角度から学習する。 2 書の各分野について、より幅広く、深く学習する。			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	<b>【1学期】</b> 1 篆書の学習 2 篆刻の学習 3 隸書の学習  <b>【2学期】</b> 4 草書の学習 5 行書の学習 6 楷書の学習  <b>【3学期】</b> 7 仮名の書の学習 8 漢字仮名交じりの書の学習		・篆書の特徴、基本用筆 ・古典の臨書・鑑賞 ・印の歴史、印の章法 ・隸書の特徴、基本用筆 ・古典の臨書・鑑賞  ・草書の成立 ・古典の臨書・鑑賞 ・行書の表現の多様性 ・楷書の表現の多様性  ・古典の臨書・鑑賞 ・仮名創作 ・漢字と仮名の調和 ・カレンダー制作	
評価の観点・評価方法	書の関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
	・書を愛好し、古典の学習をとおして書の文化や伝統についての理解を深めようとしている。	・感性を高め、漢字の書・仮名の書・漢字仮名交じりの書の学習をとおして個性豊かな能力を伸ばし、創造的な表現を工夫している。	・漢字の書・仮名の書・漢字仮名交じりの書において個性豊かな表現をするために、幅広い表現理論と技術を身に付けている。	・古典の学習をとおして書の歴史や文化について理解し、鑑賞の活動の中で書の美を分析的・総合的に捉え、そのよさや美しさを味わっている。
	上記の観点を踏まえ、提出作品、授業態度等を総合的に判断して評価を行う。			
学習のアドバイス	1 用具の準備・片付けはきちんと行い、気持ちの良い環境で活動しよう。 2 技法の習得においては、自分の解決すべき課題や問題点を見極めながら練習する習慣を身に付けよう。			
教材費	約5,000円（上記教材費を含む）			
その他	特になし			